

これまでに頸髄損傷のリハビリテーション治療を受けた患者さまとご家族へ

ならまちリハビリテーション病院は、奈良県立医科大学整形外科と協力して「奈良県内の回復期リハビリテーション病棟における頸髄損傷患者に対する職業復帰に向けた取り組みに関する調査」という臨床研究を実施しております。この研究は、奈良県における就労の必要性が高いご年齢（18歳から60歳）の外傷性頸髄損傷患者に対して、県内の回復期リハビリテーション病棟で職業復帰についてどのような取り組みをされているか、その現状を明らかにすることを主な目的としています。この臨床研究の概要についてご確認いただき、問い合わせなどがありましたら「問い合わせ先」へご照会くださいますようお願いいたします。

この臨床研究は、ならまちリハビリテーション病院医の倫理審査委員会で審査され、許可を得て行います。

■研究体制

研究責任者

ならまちリハビリテーション病院 リハビリテーション科 登 希星

共同研究者 奈良県立医科大学 整形外科 学内講師 重松 英樹

■研究の目的

奈良県における就労の必要性が高いご年齢（18歳から60歳）の外傷性頸髄損傷患者に対して、県内の回復期リハビリテーション病棟で職業復帰についてどのような取り組みをされているかの現状を明らかにすることです。

■研究期間

・研究の対象となる期間

2020年1月1日～2022年12月31日に入院された患者

・全体の研究期間

倫理審査承認日～2024年3月31日

■研究の方法

・対象となる患者 対象期間中に外傷性頸髄損傷と診断されリハビリテーション治療を受けられた患者

・研究の方法 この研究は、対象となる患者の入院治療時に記録された診療情報（カルテ情報）を対象としますので、患者に新たに検査をしたりお話を聞いたりすることはありません。入院中に行われた職業復帰に向けた取り組みについて奈良県内の回復期リハビリテーション病棟の医療機関に調査を行います。

・利用する診療情報 入院時年齢、性別、退院時の麻痺の程度（Frankel 分類）、受傷時の就労の有無、入院中の職場との連携の有無、入院中の身障手帳申請の有無、退院時就労支援機関との連携の有無、職業復帰の有無 など

■個人情報の取扱い

この研究では、医療機関の活動状況を明らかにすることを目的とするため、報告書には個人情報を特定する内容は記載されることはありません。この個人情報と研究用 ID の対応表は厳重に研究責任者において管理されます。

また、この研究で得られた患者の情報を集積し、今後、新たな臨床研究に使用させていただく場合があります。その際も患者の個人情報が公開されることはありませんし、新たな臨床研究を計画した場合には、再度、研究倫理審査委員会の承認を得て、実施します。

研究の成果は、学会や学術誌などで公表されますが、この場合も、個人が特定される情報が公開されることはありません。

■利益相反

利益相反とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業等から研究者へ提供される謝金や研究費等がこれにあたります。

この研究は、本病院の研究費で実施しますので、特定の企業・団体等からの支援を得て実施するものではありませんので、利益相反はありません。

※ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができますので、お申し出ください。

※この研究のカルテ情報使用についてご了承いただけない場合や、研究に対する問い合わせがありましたら、下記までご連絡ください。ご了承いただけない場合でも、今後の治療などに不利益を受けることはありません。

【問い合わせ先】

ならまちリハビリテーション病院 リハビリテーション科 研究責任者 登 希星

Tel：0742-20-3700（内線703） Fax：0742-20-7800

e-mail：marehoshi@kcn.jp